

# 医療機関の上手な受診の仕方

point  
1

## 日頃からお子さんの様子をよく観察しましょう

「いつもと何か様子が違う」家族がそう感じることで子どもの病気が見つかることがよくあります。お子さんの様子、特徴やくせをよく知っておくと、ちょっとした体調の変化に早く気づくことができます。もしもの急病の時にも早めに異常が発見できるように心がけておきましょう。

体調の不良を感じたら、症状がひどくならないうちにかかりつけ医の診療時間内に受診しましょう!!



point  
2

## かかりつけ医をもちましょう



入院や高度な治療、精密検査などが必要な場合、かかりつけ医が適切な医療機関や専門医を紹介してくれます!!

子どもは個人差も大きく、成長により日々変化していきます。日頃から気軽に何でも相談できる

「かかりつけ医」をもちましょう。

かかりつけ医は近くの小児科専門の医療機関を選びましょう。日常の健康管理のアドバイスはもちろん、いろいろと相談に乗ってもらえ、わからないことは遠慮せずに聞くこともできる心強い存在です。

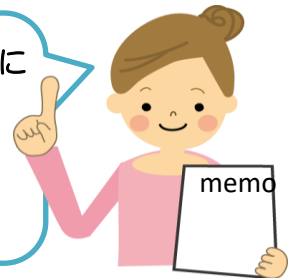
point  
3

## 出来るだけ時間内に受診し、子どもの症状を知っている人が連れて行きましょう

どんな医療機関も通常の診療時間内がスタッフもそろってもっとも機能が充実しています。詳しい診察や相談をするためには時間内に受診しましょう。

受診の際には子どもの様子がよくわかる人が連れて行き、症状についてできるだけ詳しく説明ができるようにしておきましょう。

受診を祖父母などに頼む場合は、子どもの訴えや家での様子をメモして渡して



point  
4

## 安易な受診はやめましょう



お子さんの症状が緊急に受診すべきものか、朝まで待てるのかを正しく判断するために宇佐市子育て支援サイト“うさここ”（健康・医療・小児救急について）をご活用ください!

時間外に診察が受けられるから、便利だから受診するという安易な受診は控えましょう。

時間外受診は翌朝まで待てない時の一時的なものという意識を持ちましょう。時間外に軽症の患者さんが多く受診することで、処置を急がなければならない重症患者さんへの対応が遅れてしまうことが問題視されています。しかし、受診すべきだったお子さんが朝まで待ったために重症化してしまうことはもっとよくありません。



### 受診に持っていくとよいもの

母子健康手帳・保険証・子ども医療費受給資格者証・診察券・熱などの症状を書いた経過メモ（熱の推移についてのグラフ）・便の様子がおかしい時は便（オムツ）・病院でもらっている薬の名前（薬剤情報・お薬手帳）・ティッシュペーパー・タオル・着替え・オムツ・お気に入りのおもちゃや絵本など